

スポーツなかの Vol.32

中野土建株式会社スポーツ情報誌 (R8.8月号)

クロスカントリースキー 馬場 直人 選手

2022年 北京オリンピック出場 2026 ミラノコルティナオリンピック出場

8月7日から9月1日まで、ノルウェー・オスロとスウェーデンで海外遠征を行いました。
前半の約2週間は、クロスカントリースキー最強国の一つであるノルウェー・オスロを拠点に、ワールドカップ優勝経験を持つミカエル選手とともに、ローラースキーやランニングなどの陸上トレーニングに取り組みました。また、ノルウェーのナショナルチームの選手たちともトレーニングを行い、インターバルトレーニングにも参加しました。世界トップレベルの選手たちと日々のトレーニングを共にする中で、クロスカントリースキーの技術やトレーニング方法など、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。後半の約10日間は、スウェーデン・トーシェビーへ移動し、スキートネルでの雪上トレーニングを行うとともに、ローラースキー大会にも出場しました。トーシェビーのスキートネルは、1周約1.2kmのコースで、夏場でも実際に雪上でスキーのトレーニングができる環境が整っています。夏の北欧は気温が20℃前後と過ごしやすく、充実した環境の中でトレーニングに集中することができました。今回の遠征では、世界トップレベルの選手や環境から多くの刺激を受け、競技力向上につながる貴重な経験を積むことができました。



【9月の予定】

9/5-9/12 志賀高原渋峠合宿
9/19-22 木島平サマーノルディック大会

スキーモ 島 徳太郎 選手

8月はナショナル合宿からスタートしました！白馬を拠点に常設トレイルコースでのタイムトライアルやインターバルトレーニングを行い、他のアスリートと共にボリュームのある質の良いトレーニングができました。
現在は志賀高原を中心にトレーニングを行い、標高の高いかつ涼しいところで質の良いトレーニングができています。オリンピックに長距離のインディビジュアル種目が新たに採用されたことから、昨年からトレーニングを大きく変更し、3分～10分のスプリントのためのトレーニングから2時間動き続ける持久系のトレーニングまで幅広く行なっています！

★8月の活動記録★

ペガサスカップ 2026 1000m選手権 2分32秒

【9月の予定】

8/29 志賀高原100 40kmレース
9/20 GTWS 妙高 20kmレース



スカイランニング 小田切 将真 選手

2024年 世界選手権3位入賞 (スペイン)

8月はクロカンでの駅伝、山のレース合わせて3本のレースに出場しました。
白馬スノーハープ駅伝は、別のレース直後のこともあり男女混合チームのアンカーを走りました。疲労が残る中ではありましたが、想定以上の走り、昨年より速いタイムで走ることができた上にチームとしても優勝することができました。
8月15日、16日の婦恋スカイランは初日のパーティカル、2日目のスカイミドルに練習の一環として、あえて調整をせずに出場しました。パーティカルは4位でしたが、これまでの自己ベストを更新するタイムで走れました。スカイミドルは、昨年よりコースが延びた事と、コースコンディションが悪かったことを加味するとほぼコースレコードぐらいで走れました。どちらのレースも自分の状態を確認できたいい機会になったと感じています。9月はいよいよ世界選手権もあり、ここから最終調整に入っていきます。
体調管理とケガに注意しながらしっかり勝負できる状態に持っていきたいと思います。

★8月の活動記録★

7/25 白馬スノーハープ駅伝 男女混合優勝
8/15 婦恋スカイラン パーティカル 4位
8/16 婦恋スカイラン スカイミドル 1位

【9月の予定】

9/13 白馬国際クラシック29k
9/19 スカイランニング世界選手権スカイウルトラ
9/27 ゴルベアスーゼン(スペイン)



中野下高井アスリートファミリー



夏休みに入り、7月からリレー練習をスタートしました。9月に行われる北信選手権小学生リレーに向けてNDFからは4チーム出場予定です。お盆休み中もリレーメンバーのみでふるさとパークにてバトンパスの練習や本番を想定したトレーニングを暑さに気をつけながら行いました。16日には長野市営陸上競技場にて『ペガサスカップ1000m選手権』に出場し好記録を出しながらみんなで楽しく走ってきました。夏休みも後半ですが熱中症対策など気を抜かず練習に取り組んで行きたいと思います。



@馬場 直人



@島 徳太郎



@小田切 将真



@NDFジュニア

